

<様式1> 管理運営状況評価書

【対象年度:令和3年度】

(①歴史・文化施設)

は選択入力項目

は自動計算のため入力不要

I 施設概要・利用情報

(単位:人、%、円、日)

施設名		掛川市清水邸		担当課名	文化・スポーツ振興課	記入者職氏名	主事 古田 桃子	
区分		内容・説明						
1 施設及び指定管理者の状況	(1) 設置条例名	掛川市清水邸条例						
	(2) 施設設置目的	清水邸の自然、文化及び歴史を市民に広く開放するとともに、茶道文化の普及及び伝承を図り、もって市民文化の発展に寄与する。						
	(3) 施設が有する設備、機能の概要	清水邸庭園:面積2,869㎡、茶室「湧水亭」:建築面積154.82㎡。茶室の呈茶は有料であるが、庭園は無料で公開している。						
	(4) 施設建設年度	平成4年度						
	(5) 耐震性能の有無	有						
	(6) 将来予想される改修経費 (想定年度と費用見込み)							
	(7) 指定管理者名	掛川観光協会大須賀支部						
	(8) 指定期間	平成29年 4月1日 から 令和4年 3月31日 まで						
	(9) 債務負担行為設定の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 設定あり	<input type="checkbox"/> 設定なし	※設定ありの場合、(期間 平成29年度 ~ 令和3年度) (限度額 50,261 千円)				
	(10)施設の管理運営形態	①指定管理料のみによる運営						
	(11)自主事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり	<input type="checkbox"/> 実施なし	※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。				
(12)その他事業の有無	<input type="checkbox"/> 実施あり	<input checked="" type="checkbox"/> 実施なし	※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。					
(13)事業報告書提出の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 提出あり(地自法第244条の2第7項による提出義務) <input type="checkbox"/> 提出なし							
(14)利用者満足度調査等実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり	<input type="checkbox"/> 実施なし	※実施ありの場合、(直近の実施年度 平成 年度)					

区分		R01実績	R02実績	R03実績	R04当初	備考	
2 利用状況	(1)施設利用者数	(目標値)	1,778	1,940	1,940	2,000	※協定書に記載した要求水準値を記入してください。
		(実績値)	1,960	1,081	1,411		
	内訳 (施設・設備ごと)	入館者		1,949	1,040	1,396	
		使用者		11	41	15	
	(2)稼働率(利用率)						↓備考欄に算定式を記入してください↓
	(施設・設備ごと)	(定員 人)	A平日昼間				
			B平日夜間				
			C土日祝昼間				
			D土日祝夜間				
		(定員 人)	A平日昼間				
			B平日夜間				
C土日祝昼間							
D土日祝夜間							
(定員 人)		A平日昼間					
		B平日夜間					
		C土日祝昼間					
		D土日祝夜間					

2 利用状況	(施設・設備ごと)	(定員 人)	A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
		(定員 人)	A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
		(定員 人)	A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
区分			R01実績	R02実績	R03実績	R04当初	備考	
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名						※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入	
	(2)利用者一人当たりの運営経費		3,293	5,726	4,164			
	(3)運営日数		282	269	271	308		
	(4)運営人員	①正規職員	0.0	0.0	0.0	0.0	※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。	
		②臨時職員	4.0	4.0	4.0	4.0		

II 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

区分		R01決算額	R02決算額	R03決算額	R04当初予算額	備考
	①人件費	5,071,338	5,019,372	5,117,455	6,049,800	
	②印刷費	48,000	50,037	0	38,000	
	③通信費	89,611	99,921	86,973	130,000	

(1)運営コスト(A)	④事務用品、旅費、図書費など	150,742	168,428	146,387	150,000	
	⑤借上料	481,968	309,720			
	⑥保険料、消費税(租税公課)等	45,910	44,606	47,422	65,000	
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	566,949	497,803	477,399	655,200	
	計	6,454,518	6,189,887	5,875,636	7,088,000	
	対前年度増減率		△ 4.1	△ 5.1	20.6	
区分		R01決算額	R02決算額	R03決算額	R04当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	2,859,492	2,695,810	2,792,010	3,862,000	
	緑化管理業務	2,143,508	1,978,520	2,072,410	2,985,500	
	防犯・防火管理業務	527,308	154,440	154,440	250,000	
	空調機保守業務	35,640	35,530	37,950	70,000	
	池清掃管理業務	153,036	527,320	527,210	556,500	
	庭園清掃業務					
	②修繕費	313,436	638,339	769,945	800,000	
	③光熱水費	280,754	281,964	306,809	350,000	
	④燃料費					
	⑤清掃費					
	⑥保守点検費					
	⑦その他(施設消耗品)					
	計	3,453,682	3,616,113	3,868,764	5,012,000	
対前年度増減率		4.7	7.0	29.6		
(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A)+(B)		9,908,200	9,806,000	9,744,400	12,100,000	
(4)合計のうち運営コストの割合		65.1	63.1	60.3	58.6	
(5)施設の収入 ※1)下記3に入力する		791,770	467,260	596,300		
(6)運営コストのうち利用料収入の割合		12.3	7.5	10.1		

Ⅲ 収支差額の状況 注【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	R01決算額	R02決算額	R03決算額	備考
a) 施設使用料収入	791,770	467,260	596,300	※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料	9,908,200	9,806,000	9,744,400	
収支差額 a)－b)	△ 9,116,430	△ 9,338,740	△ 9,148,100	

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	R01決算額	R02決算額	R03決算額	備考
a) 施設利用料金収入				※施設利用料金は、指定管理者へ収入される
b) 収支差額(a－トータルコスト)				
c) bに対する市の支出額(指定管理料)				

(3)自主事業及びその他事業の状況

(単位:円)

区分	R01決算額	R02決算額	R03決算額	備考
a) 自主事業の収入	205,670	129,095	150,395	
b) 自主事業の支出	205,670	0	150,395	
収支差額 a)－b)	0	129,095	0	
c) その他事業の収入				
d) その他事業の支出				
収支差額 c)－d)	0	0	0	

IV 担当課による評価

(1) 施設設置目的の達成度

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	設置目的を達成できている	3	季節に通じた茶会を実施しており、引き続き茶文化普及に努める。
2	設置目的をほぼ達成できている。		
1	設置目的を一部達成できていない。		
0	設置目的を達成できていない。		

(2) 協定書に記載した業務要求水準の達成度 <達成 3点、8割達成 2点、6割達成 1点、6割以下の達成度 0点>

評価項目	要求水準	実績	評価	改善を要する点
A 施設全体の満足度	90%	100%	3	
B サービス内容の満足度	90%	100	3	
C 従業員対応の満足度	90%	100	3	
D 施設安全対策の満足度	90%	100	3	
E 美観・清潔感の満足度	90%	100	3	
F 施設の利用者数	1,940人以上	1,411人	1	令和2年度と比較すると回復傾向ではあるが、新型コロナウイルスの蔓延により中々来場者の目標値を達成することが厳しい状況であった。今後は広報に力を入れ、来場者数の増加を目指す。

※協定書の業務要求水準及び実績を記載し、評価については要求水準に達していれば3、8割達成は2、6割達成は1、6割以下は0としてください。

(3) 収支の改善状況 ※収支差額が赤字は0点、収支差額が黒字は1点から3点としてください。

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	前年度より収支状況が向上している。	2	自主事業としてお茶会の開催、おしるこ、葛湯の提供等を実施しており、引き続き収入の増加に努める。
2	前年度と同等の収支状況になっている。		
1	前年度より収支状況が縮小している。		
0	収支差額が赤字となっている。		

(4) 安全対策・危機管理体制など

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	利用者の安全対策や危機管理体制は万全である。	3	危険個所がないか日ごろから確認をし、急な事故等に対応できるよう引き続き事故防止に努める。
2	万全とは言えないが、事故等が発生する確率は低い。		
1	安全対策・危機管理体制は整っているが、昨年度事故等が発生している。		
0	利用者の安全対策や危機管理体制に不備があり、改善が必要である。		

(5) 本施設(事業)の継続性と行政の関与について

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	民間が実施できる事業であり、行政が実施しなくてよい。 (施設の貸付、売却、譲渡、独立採算制などを検討)	2	地元のボランティアや本宅との事業と連携し、施設の魅力を様々な機会において情報発信している。引き続き、施設の有効活用を図り、情報発信をしていく。
2	民間が実施できるが、行政の関与が必要である。 (直営化、一定額指定管理料制度など)		
1	現在の指定管理で良いが、大幅な経営改善が必要である。 (独立採算制、一定額指定管理料制度への移行など)		
0	民間では実施できない、担い手がないため、行政がやるべきである。 (直営化など)		

(6) 総合評価

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	本施設の指定管理者として、特に優れている。最適である。	3	地元の団体が指定管理者だからこそできる施設管理をしており、ボランティアも積極的に受け入れ、施設の管理と同時にまちを活性化する機能も果たしている。しかし、強い誘客力がないため、施設の利用促進について努力していく。
2	本施設の指定管理者として、問題はなく適当である。		
1	本施設の指定管理者として、やや劣っている。改善を要する。		
0	本施設の指定管理者として、著しく劣る。適当でない。		

合計

29

／33

V その他自由意見

--